



(ボランティアセンター
シンボルマーク)

ボランティアセンター だより

問 合 せ・申込み等

「ボランティア国際年+10」

「ボランティア国際年」(2001年)から10年目にあたる2011年を国連は「ボランティア国際年+10(プラステン)」と位置づけ、再びボランティア推進を世界中に呼びかけています。

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
☎ 029-309-1011・FAX 029-309-1139
(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)

ボランティアサークル連絡会・研修会

9月3日水戸市福祉ボランティア会館大研修室にて、ボランティアサークル連絡会と研修会が行われました。研修会では、水戸市城東に在住の藤澤二三夫先生より「科学技術が支える福祉機器及び介護・福祉ロボット」と題して、楽しくわかりやすく講演をいただきました。「使いやすい介護ベット・リハビリを支援するロボットや心理療法のセラピーロボット」など、障害がある方の生活の質の改善に幅広く役に立っていると再確認をしました



昔懐かしいロボットや人形から、今の福祉ロボットへのお話

災害支援ボランティア講座

9月27・28日の2日間、福祉ボランティア会館で災害支援ボランティア講座が行われました。‘独立行政法人 防災科学研究所の研究員坪川博彰氏’及び‘独立行政法人 日本原子力研究開発機構の藤川良道氏’を講師に迎え、災害時の基礎知識を取得し自分で出来ることや支援出来ることを考え、災害時に備えて自分が住んでいる地域に起こる可能性のある災害とは何かを学びました。

延80名の参加者は、地域防災計画やハザードマップの説明を聞いた後「マップを活用した自然災害のリスクの理解」や「放射線と健康への影響について」の講話とグループに分かれて災害時の被害を想定し「防災ラジオドラマづくりのワークショップ」体験を行い、参加した方には「3月11日の地震当日それぞれの状況や体験談を活かし、今後の地域での防災対策に役立てたい」、「正確な放射線による健康への影響について知ることができて安心した」などの感想をいただきました。



「放射線と健康への影響について」のわかりやすいお話



災害を想定した「防災ラジオドラマづくり」に奮闘中

あったが通信



ボランティアまつり in ミオスで来場者と一緒に(福祉ボランティア会館)



いろんな姿勢で楽しめます(茨城県水戸生涯学習センターを会場に)

“ありがとう”“お互いさま”の精神で

水戸いきいきヘルス体操・睦会 菅原 利満

「睦会」は、主に地域の高齢者の皆様に対してシルバーリハビリ体操の普及と実技指導を行い、健康づくりと会員のいきがい活動に取り組む事を目的に、平成18年4月に設立されました。

会員は、茨城県知事認定の「シルバーリハビリ体操指導士」で構成されています。シルバーリハビリ体操は、テレビでお馴染みの県立医療大学名誉教授で県立健康プラザ管理者の大田仁史先生が考案された体操です。この体操は、高齢者の健康の保持増進を図り、また、介護予防を目的として、日常生活機能や体力の維持向上を図るものです。高齢者や障害のある人を始め、誰でも、いつでも、いろいろな姿勢でも出来る体操です。道具も使わずに、自分の体で強さを加減しながら行えるので身体に優しいと好評です。

これからも地域の皆様のご協力を頂きながら、シルバーリハビリ体操の普及と会員相互の研さんに努めたいと思います。宜しくお願い致します。